

## 令和3年1月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

景況 DI 値は、12 月期には若干好転したものの、1 月期においては、GoTo トラベルの一時停止、11 都府県への「緊急事態宣言」の発出及び県内での新型コロナウイルス感染症クラスター発生、さらには年明けの降雪・寒波の影響により再び悪化に転じ、すべての業種及び地域において横這いかまたは悪化した。

新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の縮小は、多くの業種に深刻な影響を及ぼしており、特に、商店街や旅行業等においては、休業や事業廃止した事業所が出てきている。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、業種を問わず、閉塞感とともに、受注や売上のさらなる減少など先行き対する不安感が広がっている。

### 山口県の主要指標 DI 値（令和3年1月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況  $(\text{＜好転＞} - \text{＜悪化＞} = \text{＜DI 値＞})$

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：57.5% DI 値：▲57.5% ポイント

売上高  $(\text{＜増加＞} - \text{＜減少＞} = \text{＜DI 値＞})$

前年同月比は、増加：6.3% 減少：63.8% DI 値：▲57.5% ポイント

収益状況  $(\text{＜好転＞} - \text{＜悪化＞} = \text{＜DI 値＞})$


前年同月比は、好転：3.8% 悪化：57.5% DI 値：▲53.7% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和3年1月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲66.7	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲50.0	▲37.5	0.0	▲51.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲60.0	▲87.5	▲75.0	▲72.7	▲36.4	▲42.9	▲100.0	▲61.7
							

全 体
▲57.5


## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	少し戻りつつあった売上げが、GoTo トラベルの休止により減少してきている。	調味料製造業
	年始の降雪の影響で売上が大きく減少している。公共交通機関の売店においては緊急事態宣言以降、売上が激減。駅構内の店舗は、営業時間厳守の規定により閉店もできず、人件費の負担が重くなっている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	休日が多く営業日数が少ないため、売上が減少。新型コロナウイルスの影響で飲食店関係の売上が減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	1 2月の店舗売上の合計は対前年同月比+2.3%と微増。中旬までは+20%程度のプラスの推移であったが、GoTo トラベルの停止や年末のお魚市のイベント縮小により、大幅な売上の急減で業績が悪化した。特に年間で最大日商をマークする年末30日、31日は例年の半分程度の売上で、都市部から萩市へ帰省自粛が大きく影響したとみている。1月の売上は1/24時点で、対前年▲30%近い大幅な減少。GoTo トラベル停止や都市部緊急事態宣言発出による観光客利用の大幅減少や、大雪による営業期間短縮や臨時休館で大きなマイナスとなった。今後2～3月についても売上が回復する好要因は見つからず、対前年比2～3割程度のマイナスで推移すると予測している。売上増強策として12月初旬より「萩シューマーとオンラインショップ」を開設。注文がぼちぼち入る程度だったが、1月18日から発売開始した「萩の真ふぐ鍋セット 3,980円」に注文が殺到し、現在は売り切れ状態となっている。	水産食料品製造業 萩市
	長門市の観光業界は、一時期、GoTo キャンペーンにより人の動きがあったが、現在は停止となり大変なダメージを受けている。観光直売店も諸に影響を受け、休業に追い込まれている。今後の経済動向の変化を想定できない状態。大変なコロナ禍にあるが、乗り切って明るい未来に期待したい。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスがなかなか落ち着かず、ベトナム人技能実習生の出入国が難しい状況は変わっていない。いつ出入国出来るかわからないため、各会社の人員確保についても悩ましい状況である。	水産食料品製造業 下関市

	<p>1月中旬までは12月の余韻で総売上の下げ幅は10%以内であったが、自粛宣言後の売上は低調。自粛要請発令の11都道府県においては発注供給元であるため、今後の売上も見込めない。前年同月比では10%前後のダウン。今後の自粛要請延長との戦いとなる中、持ちこたえられるかが心配。観光地向けGoToトラベル停止によるお土産・市場の売上の落ち幅60%は回復できない。時短営業によるクラスター対策で今後の大型連休においても観光地向け販売商品は予測が立て辛い。</p>	
	<p>1月は、新型コロナウイルスの蔓延に伴い緊急事態宣言が発出され、各種イベントが中止となるなど、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、経営活動を遂行していただくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させ、経済活動との両立を図ることが必要となる。飲食店の時短要請などにより、関連食材の売上も激減し、特に山口県の日本酒メーカーの売上減少が酒米の買い控えというところにつながっており、影響が多岐に広がっている。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>新型コロナウイルス関連での影響は現在のところはない。外国人技能実習生も入国制限前に6名来日出来たが、入国制限が長く続くようでは、次回の来日に影響が出そうで懸念している。</p>	下着類製造業
	<p>一品目毎の生産量が減少してきており、効率が悪くなっている。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>12月頃より仕事量が減少傾向であり、3月中旬頃まではこの状態が続くと思われる。</p>	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	<p>新型コロナウイルスの影響で全く仕事がない状況。民間の見積依頼が2件あったのみである。良い話題がなく、気持ちが落ち込むばかりである。</p>	製材業・木製品製造業 岩国市
	<p>原木不足により木材乾燥量が少なかった。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>組合員の1月売上額は対前年同月比で平均25%程度の減少。業界全体の低迷が続く中、資金繰りについて悪化してきた組合員も出てきている。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>新型コロナウイルスのクラスター発生に伴う会合、イベント等の中止や自粛の流れを受け、例年最も繁忙期となる年度末(3月)に向けての受注が半減する等大きな影響が出始めている。出口がみえないコロナの影響により、マーケットの規模縮小や業界の再編が進むのではないかとの見方もされる事態となっている。コロナ第3波感染拡大により、11都府県に緊急事態宣言が発出される事態となり、折角持ち直すかにみえた景気動向も、再度先行き不安感が広がっている。</p>	印刷 下関市

	毎年山口市で行われる学生の全国大会が主要都市の非常事態宣言を受け中止となり、パンフレットの作成がなくなった。そのほかの大会も軒並み中止になり、2～3月の受注の見通しが立たない。	印刷 山口市
窯業・ 土石製品	出荷量は、 (令和2年1月) 骨材 72%、路盤材82%、再生材114% ↓ (令和3年1月) 骨材105%、路盤材81%、再生材 92% 組合員全体の売上は前年より減少しているが、前年より増加の組合員が過半数ある。	砕石製造業
	出荷量は、前月比111%、前年同月比91%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事が複数あったため、今年度は売上高が減少している。	生コンクリート製造業 周南市
	年明けの強い寒波により設備の破損し、部品の供給に時間がかかり操業できない組合員がある。移動時や現場に積雪があり作業が出来ない状態が続いた。	石工品製造業
	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が1月8日～2月7日の期間、東京都をはじめ全国11都府県で発出された。萩市内の観光客はツアー・個人客とも大幅減となり、売上は対前年同月比で30%～50%となっている。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注(卸販売)は前年比60～70%程度である。昨年末に萩焼協同組合のECサイトをアップしたが、売上は低迷している。今後はフェイスブックやインスタグラムとの連携や、写真の撮影・加工のスキルアップ(2月に専門家によるセミナーを開催予定)などで、売上を伸ばしていきたい。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	12月に引き続き、1月も例年同様に閑散期に入っている。全体的に仕事量は少ない模様だが、「今年は特別少ない」ということでもない様子。しかしながら、設備の修繕などが多く、新たな設備投資という案件は少なくなっているように思われる。	一般機械器具製造業 下松市
	今は受注残があるが、それも間もなく無くなるという話もある。	一般機械器具製造業 周南市

	<p>山口県内の新型コロナウイルスの感染者が急増している。組合員の稼働状況は、前年後半と比較して、単発的ではあるが受注においてはまずまずというところである。中国と取引のある組合員は順調な稼働をしている。マツダ関連では、半導体の入荷困難により生産台数を減らすとの発表があり、今後、景況のマイナス要因の一つになりそうである。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、概ね事業確保は出来ている。但し、精肉、食品加工など一部企業で売れ行きが落ち、人手が余剰となってきた。一方、コロナ後を見据え実習生の増員を予定している企業もあり、業種によりばらつきがみられる。なお、非常事態宣言に伴い、外国人の入国が出来なくなり事業継続に支障が出てきている企業もある。帰国についても困難な状況であり、特定技能、特定活動への在留許可の切り替えにより対処している。この状況が長引くと、実習先を解雇されることが懸念される。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>全国的に第3波が到来する中、再び先行きが見通せない状況。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両関係の受注は概ね2年先までの生産予定はあるが、世界的なコロナ禍の状況では、減少することも見込まれる。国内車両関係では、受注の取り止め・先送り・減産等々コロナ禍の影響が予想される。半導体は当初の予定より多少、受注が減少している。産業プラント部門は、撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルスの流行による取引各社の操業度の落ち込みがあり、受注の落ち込みがある。</p>	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	<p>前年度に比べ海苔の入庫が早く、倉庫売上はやや増加となった。令和2年4月からの総売上もやや増加傾向である。</p>	乾物卸売業
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、コア事業である企業の広告の減少等により、売上が大幅に減少している。第3波の収束後も売上の回復は期待できないと思われる。</p>	各種商品卸売業
	<p>コロナ禍による冠婚葬祭の減少により、引き出物用商品が減少。</p>	各種商品卸売業
小売業	<p>山口県内の新型コロナウイルスのクラスター発生が影響し、前年より売上大幅ダウンの店舗が増加。飲食業と違い50%以上のダウンまではないが、国や自治体の助成金対象ではないので厳しい。また、化粧品専門店がメーカーとの契約でネット販売ができないところがほとんどであるので、多方向からの売上は望めない。</p>	化粧品小売業

	<p>新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、大量動員の見込まれる農業機械他の展示会等の開催が困難であると予想され、また、「経営継続補助金」が終了する予定等により、極めて厳しい状況が続くと思われる。年末年始の大雪等の天候不順に加え、令和2年産米の不良の煽りを受け、農家の購買意欲が著しく減退している。</p>	農業用機械器具小売業
	<p>家電の売上は前年同月比で約90%。寒波による凍結等で工事、修理の売上があった。</p>	機械器具小売業
	<p>依然としてコロナ禍の影響は続き、感染者数の値が激増していて、消費者、事業者ともに心理的ダメージはどん底である。商店街内でも年末を越えて休業や廃業、経営コストの安価な地へ移転などが相次ぎ、人出も無い。出口が見えない深刻な状況である。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>商店街への来街者は、12月より減少している。1月は例年減少傾向にあり、本年も同様であるが、特に来街者の現金での駐車場売上が大幅減少となっている。組合員への共通駐車サービス券の販売も減少。ホールの利用者は令和2年4月・5月時より増えているが、取消しの間合せも増えている状況。総売上は前年同月比おおよそ50%の減少。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>12月のプレミアム商品券・ポイント祭の商品券を1月に来街者が利用しているのので、加盟店の売上に繋がっている。GoTo 商店街の申請を出しているが、審査がストップしたため販促活動ができず、再開するまでの我慢である。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>商店街での状況把握は難しい。新型コロナウイルスの影響で、かなり落ち込んでいることは間違いない。</p>	岩国市
	<p>市内の新型コロナウイルスのクラスターの発生で、増々人通りが少なくなっている。飲食関係は特に厳しいようである。</p>	宇部市
	<p>1月は商品券の回収が3割弱残っているのので多少の人出がある。青果店の売上は上がっている。「商品券は2月末で終わるので、政府は引き続き対策を考えてほしい。」「GoTo トラベルと同じく、GoTo 商店街でも券で買い物ができるように考えてもらいたい。」と店主は話す。</p>	萩市
サービス業	<p>山口県の新型コロナウイルスの感染状況がステージが3になり、緊張が走っている。クラスター発生の中であるが、経営的には例年と変わらず、出かけるところが無い分、多少客足が伸びている模様。</p>	美容業
	<p>新型コロナウイルスの影響で過去に経験をしたことがない売上減少の傾向にある。特に高齢者の自粛により来店サイクルが長くなっている。</p>	理容業

	<p>自動車に搭載される先進安全装置（衝突被害軽減ブレーキやレーンキープ等）の装着率が100パーセントに近づく中で、春にはレベル3の自動運転車が販売される。レベル2までは車を動かすためにドライバーの監視が必要となっていたが、レベル3はシステムの監視となり、高速道路等の一部の道路においては運転に人間が関与しなくてもいいことになる。しかし、このような高度な技術が搭載されると、整備をする整備工場は高度な整備設備や人材などを備えた限定されてディーラーのみの対応となり、一般の整備工場では車に触ることもできなくなる。高度化は時代の流れではあるが、一般の整備工場にとっては死活問題となりつつある。</p>	自動車整備業
	<p>緊急事態宣言の影響で集客が悪化。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>1月は最も売上げが少ない時期ではあるが、新型コロナウイルスの影響で過去最高に悪い状況で、組合員もかなり厳しいとの事。山口県内の感染拡大に伴い、更に自粛ムードが強まったことが原因と思われる。</p>	普通洗濯業
	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業界は依然として厳しい状況で、ますます悪化している模様である。1日も早い収束を願っている。</p>	飲食業
	<p>GoTo トラベルの停止、緊急事態宣言発出により、JR売上は前年同月比93.5%減となっている。組合員も2社事業廃止となった。</p>	旅行業
	<p>対前年同月比で、宿泊人員48.6%。売上48.0%。GoToトラベルが中止となったため、キャンセルが多く、前年同月を大きく下回る結果となった。会議、宴会が全くない状況で、総売上の減少が継続している。</p>	旅館業 山口市
	<p>福岡県への緊急事態宣言の発出、下関市内でのクラスター発生により、新規予約も少なく、更なるキャンセルが発生している。</p>	旅館業 下関市
	<p>令和2年1月には新型コロナウイルスの影響はなかったが、令和3年1月は新型コロナウイルス感染症の影響で、入浴者数は前年同月比40%の減少、売上高は51%の減少となった。2度目の緊急事態宣言後の自粛ムードの影響は更に広がり資金繰りを圧迫し、経営に大きく影響している。</p>	旅館業 長門市
建設業	<p>中電への工事申請106件（当支部96件）、前年同月78件（同66件）。太陽光発電への申請12件（前年3件）、オール電化申請31件（前年54件）。LED街路灯への切り替え・新設申請31件（前年19件）であった。</p>	電気工事業

	左官工事業界だけでなく建設業専門工事業界の状況は更に悪化している。しかしながら、力のある事業所には新しい得意先及び暫く取引のなかった取引先から施工依頼の打診がある。事業所も個人の“疾風勁草”である。	左官業
	1/9～11 の連休は寒波の予報で、水道局からの指示はなかったが、ライフラインでもある水道管の凍結等に備え組合員が待機していたところ、最近にない寒波となり漏水等の修繕工事等で大変忙しく、給水装置等の指定工事店の協力もあったが、受注分の工事に差し支える程であった。未だに復旧できていないところもある模様。組合員は、2月末まで年度当初の受注工事に組合員で協力し忙しく仕事をしている。かねてからの高齢化、人材不足の中、新型コロナウイルス感染者が未だに増加しており閉塞感とともに、先行きに不安を感じている。	管工事業
	新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言があり、先行きの不安感が増し消費も手控えられている。こうした閉塞状況の改善が望まれる。土木建設業においては、年度末が近づき、契約物件の工事が各所で進んでいる。年明け早々の寒波襲来で、年初めの工事に多少の遅れがあったとの報告を聞いている。	土木工事業 柳井市
	3年1月の受注高は、対前年同月 12.5%。今年度の累計は、対前年比 82.3%。	土木工事業 萩市
	土木工事については、ほぼ前年並みで推移。	土木工事業 長門市
	予想以上の寒波襲来により現場の工事が進まず、結果として完成工事高が上がらない厳しい状況。	屋根工事業
	小規模物件が多く、まとまった仕事が無いため、工場稼働率が低い状況が続いている。山口県全体的に見積りが極端に減少しており、不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業
運輸業	新型コロナウイルスに左右されながら国内外ともに低調で、輸出量はやや増加したものの、前年同月比では10%弱のマイナス。月毎のマイナス利益で中小輸送業者の経営は苦しい。また、燃料費は4円の値上げとなり経営は一層悪化した。軽油引取税の減税を切望して止まない。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送取扱高については未だ前年比 20%程度減少。また半導体不足の影響で自動車関連は更に打撃を受けそうである。	一般貨物自動車運送業 防府市
	1 2月に引き続き製造関係の取引先が上がり調子である。また、年末年始にかけての冷凍食品関係等の荷動きがかなり良くなってきており、山口から関東方面、	一般貨物自動車運送業 宇部市



	北海道までも輸送案件がきているようである。生活用品や小物の小売関係についてはあまり荷動きが芳しくないようである。	
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲56.2%（令和2年12月1日～令和3年1月20日分）。12月1日～31日分は▲55.5%、1月1日～20日分は▲58.1%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。12月分については、周南▲58.0%，下松▲58.5%，光▲58.0%，防府市地区が▲46.6%で、組合員の全域では▲56.4%、地区外（員外）▲45.1%、合計▲55.5% ▲2,394 千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月450.0\$/トンが今月495.0\$/トン、前年522.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月371.0\$/トンが今月425.0\$/トン、前年625.0\$/トン）。為替は円高（前月105.41円/\$が104.84円/\$）。燃料単価は前月プラス3円/ℓ（+4.55%）となったが、前年1月に高騰したこともあり前年1月より▲4円/ℓ（-5.5%）。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足もあって車両の稼働率は下がっている。現金利用の多い個人利用客はもう少し良いようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛されており、より厳しい数字となった。当地区からもコロナ感染者が発生しており、夜間の飲食関係は激減。回復時期の目途も立たず、助成金も期待できず、事業継続が困難だけでなく廃業する事業所が出て来そうに思われる。	一般旅客自動車運送業
	昨年が対前年同月比で減少であったこともあり、今年1月の取扱高は、対前年同月比、若干の増加となった。	港湾運送業 小野田市
	売上は、前年同月と比べるとほぼ横ばいの状況であるが、前々年同月と比べると減少している。	港湾運送業 下関市
その他	2度目の緊急事態宣言を受け先行きが不安だが、ベストを尽くしていきたい。	介護事業